

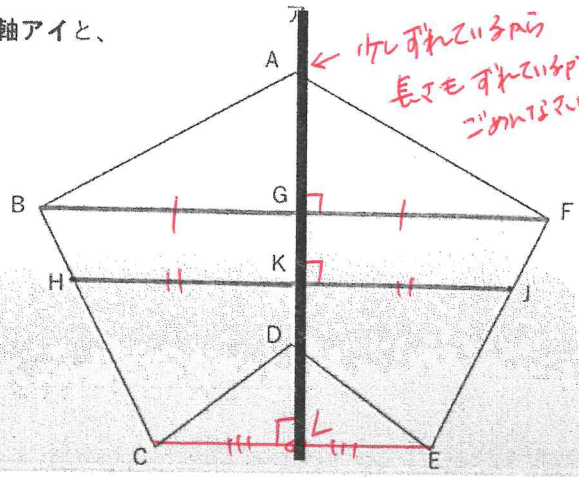
つり合いのとれた図形を調べよう② 教科書11～

(1) 線対称な図形をさらに深く調べます。この後、作図(図を書く学習)につなげます。そのためにも、ここでしっかり性質を確認しておくことが大切です。分かったこと・気付いたことを下の枠に書きましょう。

対応する2つの頂点を結ぶ直線BFは、対称の軸アイと、どのように交わっていますか。

【角度は・辺の長さは(辺AB=辺CD)のように書いてみよう。】

$\angle B G = \angle F G$ 3.3cm.
 $\angle H K = \angle J K$ 3cm.
 $\angle C L = \angle E L$ 約1.8cm
 全てアイと垂直(90°)に交わっている。



◎調べた事をまとめましょう。

線対称な図形では、対応する2つの点を結ぶ直線は、(例えば直線BFや直線HJ) 対称の軸 と 垂直 に交わる。(垂直とは直線と直線が90度に交わる事) また、この交わる点から、対応する2つの点までの 長さ は 等しい。

(2) 練習問題を解いてみよう。

P 12 ①

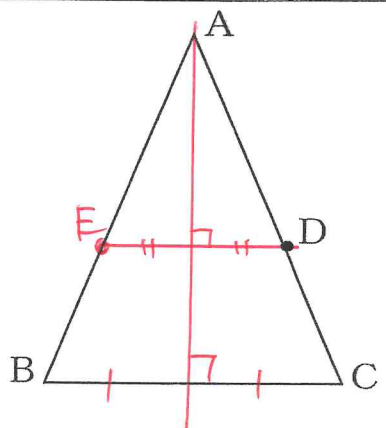
| | |
|---|-------------------|
| ① | 3.5cm |
| ② | 36° |
| ③ | BF = EF / DG = CG |
| ④ | 4本 |

②

| | |
|---|-----------------|
| ① | 頂点Aと△BCの真ん中を結ぶ。 |
| ② | 垂直に交わっている。 |

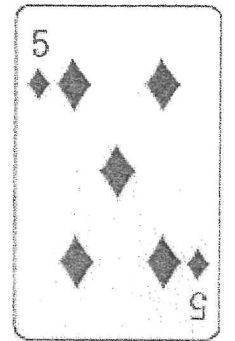
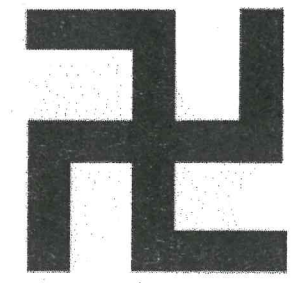
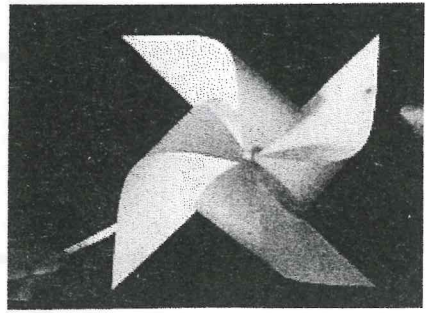
学校の確認時 OR オンラインで、答え合わせして下さい。

- ◎教科書13ページを開きましょう
- (3) 作図をしてみましょう。(教科書直接記入)
- (4) 練習問題を解きましょう(教科書直接記入)



対応するドリルを解きましょう。

つり合いのとれた図形を調べよう③ 教科書14～



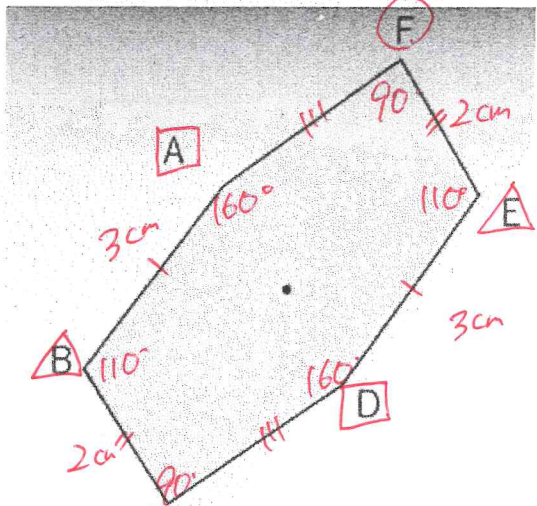
◎復習しましょう。

上のような図形を 点対称な図形 といいます。この図形は、一つの点のまわりに 180° 回転させたとき、元の図形 にぴったり重なる図形をいいます。また、この点を 対称の中心 といいます。(分からなければ教科書14ページ)

注 対象 とまがらふこと!!

(1) 点対称な図形の性質を深く調べましょう。

【対応する辺の長さ・角の大きさ(例) 角A=角B 90度 のように書いてみよう・図形に直接印を書いてもいいね】



(X)△PBC

$\angle FE = \angle CB$ 2cm
 $\angle ED = \angle BA$ 3cm
 $\angle AF = \angle DC$ 3cm
 角F = 角C / 角E = 角B
 角A = 角D.

(2) 練習問題を解きましょう ①

| | |
|---|---|
| ① | $\angle AB = \angle DE$ / $\angle EF = \angle BC$ |
| ② | 3.5cm |
| ③ | 35° |
| ④ | 80° |

- (3) 教科書16ページを見て解きましょう。
- 解いた後がわかるように、線の後や印を分かりやすく、図に書き込みましょう。
- 書き方がわからない人は、教科書17ページを参考にしましょう。

(4) 練習問題を解きましょう。

教科書17ページの②を教科書に直接記入

学校の確認、OR オンラインで、合わせ

